

■ 性能試験《混入工法》

試験結果

	スーパーコンブリート400
フロー値	173 mm
接着力	2.1 N/mm ²
曲げ強度	12.6 N/mm ²
圧縮強度	27.9 N/mm ²
吸水率	2.0 %
長さ変化率	0.015 %

試験方法

JIS A 6203 を参考に試験を実施。
試験結果の数値は実績での代表値であり、保証数値ではございません。

■ 性能試験《塗布工法》

試験結果

接着強度試験	標準状態(※1)	1.8 N/mm ²
	温冷繰り返し抵抗性(※2)	1.4 N/mm ²
	凍結融解抵抗性(※3)	1.4 N/mm ²
	SL材接着強度(※4)	1.3 N/mm ² (SL材の材破)
	ALC基材接着強度(※5)	0.3 N/mm ² (ALC基材の材破)

※数値は実績での代表値です。保証数値ではございません。

サンプル作成方法

30mm×30mm×60mmのコンクリート基材にサンプルを2回(1回目:5倍希釈400g/m²、2回目:3倍希釈200g/m²)塗布し、それぞれ塗布後は24時間乾燥する。2回目塗布から24時間乾燥後、湿練したモルタルを6mm厚で塗布し、48時間湿空中で養生した後、23℃で26日間養生したサンプルを試験体とする。

試験方法

- ※1 標準状態
作成したサンプルで剥離試験を実施。
- ※2 温冷繰り返し抵抗性
作成したサンプルを80℃×105分、散水15分を1サイクルとして、30サイクル繰り返し、24時間静置した後、剥離試験を実施。
- ※3 凍結融解抵抗性
作成したサンプルを-20℃×3時間、70℃×6時間、水中15時間を1サイクルとして10サイクル繰り返し、24時間静置した後、剥離試験を実施。
- ※4 SL材接着強度試験
70mm×70mm×20mmのコンクリート基材にサンプルを2回(1回目:5倍希釈400g/m²、2回目:3倍希釈200g/m²)塗布し、それぞれ塗布後は24時間乾燥する。乾燥後、目視にて塗布表面の状態を確認。作製したサンプルに型枠を設置し、湿入工法で湿和したSL材(SL材:水=25:7)を10mm厚になるように流し込む。1日経過後、型枠を外し、23℃で14日間養生した後、剥離試験を実施。
- ※5 ALC 基材接着強度試験
70mm×70mm×20mmの ALC 基材にサンプルを2回(1回目:3倍希釈250g/m²、2回目:3倍希釈150g/m²)塗布し、それぞれ塗布後は24時間乾燥する。乾燥後、目視にて塗布表面の状態を確認。作製したサンプルに型枠を設置し、湿入工法で湿和したモルタル(セメント:標準砂=1:3)を10mm厚になるように流し込む。48時間湿空中で養生した後、型枠を外し、23℃で26日間養生後、剥離試験を実施。

■ 取扱上のご注意

使用上のご注意

- 気温が3℃以上の時にご使用ください。
- 高速ミキサーで混練する場合は、2分以上攪拌しないでください。
- 壁面に樹脂モルタルを施工する場合は、1回目の塗り厚は7～8mmまでとし、それ以上の場合は数回に分けて施工してください。
- タイル圧着モルタルに使用する場合は、モルタルの湿り具合を確認後に貼ってください。
- 風通しの良い場所、直射日光のあたる場所等に施工する場合は、シート等で養生してください。

保管上のご注意

- 使用後、残りのスーパーコンブリート 400 は、密閉して早めにご使用ください。
- 直射日光に当たる場所や凍結の恐れのある場所で、保管しないでください。

- 保管時の温度は、5℃以下あるいは、35℃以上にならないようにしてください。
- 使用後の器具類は早目に水洗いをしてください。

取り扱い上のご注意

- 目、皮膚などへの接触を防止するため、保護眼鏡、保護手袋、マスク等を着用してください。また、取り扱いは、換気の良い場所で行ってください。

輸送上のご注意

- 運搬の際は、容器に漏れの無いことを確認の上、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。

廃棄上のご注意

- 合成樹脂エマルジョン専用の排水処理設備(凝集、沈殿、活性汚泥など)で処理してください。

漏出時のご注意

- 流路を毛布や土のう等を用いてせき止め、多量流出の場合は、バキューム等で組み上げてください。少量流出の場合は、おが屑、土砂、パーライト等を混ぜたモルタル状として凝固回収してください。河川や湖沼へ流出した場合は、地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。

応急処置

- 目に入った場合は、清浄な水で最低でも15分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄してください。
- 誤飲した場合は、多量の水、または食塩水を飲ませて吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。



〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4
http://www.yabuhara.co.jp/ info@yabuhara.co.jp

- 東京支店 ☎03-3552-4315 ● 北関東支店 ☎0480-58-6311 ● 南関東支店 ☎042-700-1200
- 大阪支店 ☎06-6385-6211 ● 仙台支店 ☎022-298-6165 ● 名古屋支店 ☎052-703-0303
- 福岡営業所 ☎092-629-0416 ● 札幌営業所 ☎011-731-0222

※このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。

販売店

PP220930



ホルムアルデヒド等級
F★★★★
登録番号 014095

アクリル系ラテックス/モルタル接着増強剤・吸水調整材

スーパーコンブリート 400

モルタルに混入させることで、モルタルと下地の接着力を強化できます。
モルタルに混入させることで、下地からの吸水を防ぎ仕上げへの影響を少なくします。
セルフレベルング材、ALCのプライマーとして使用することも可能です。

株式会社 ヤス原

スパコンプリート 400

混入 優れた耐性で安心して使用できる

耐アルカリ性・耐水性・耐候性に優れているので安心して使用できます。

混入 低臭なので作業負担が軽減できる

セメント混和時の臭いが少なくなるよう開発しました。

混入 コテ伸びが良くなり作業性が向上

モルタルに混入することで、コテ滑り、コテ伸びが良くなり、作業性が向上します。

塗布 浮き・ひび割れを抑制できる

下地への激しい吸水を抑制し、浮き・ひび割れを防ぎます。

塗布 SL材やALCのプライマーとしても使用可能

気泡の発生が抑えられ、表面精度を向上されるのでSL材やALCのプライマーとして使用可能です。

用途

性状

モルタルへの混入

- 下地調整
- PC板破損箇所の補修
- PC板ジョイント部の詰めモルタル
- PC造打継ぎ部の補修
- サッシ周りの詰めモルタル

塗布乾燥、塗布追っかけ型プライマー

- モルタル接着増強
- ALCプライマー
- セルフレベリング (SL) 材用プライマー

成分	アクリル系ラテックス
外観	乳白色クリーム状
比重	約1.0
pH	約6.3*
粘度	約15mPa・s*
不揮発分	約40.5%*
MFT	0℃以下

※実績での代表値



▲3kg / 缶

▲18kg / 缶

荷姿

- 18kg ペール缶
- 3kg ポリ容器入り / 6本詰 (ケース)

下地処理について

- ① 表面のレイトンス、ゴミ、ホコリ、油膜を取り除き、邸内に清掃してください。
- ② 豆板、PC板の破損箇所を補修する場合は、あらかじめ補修する部分の弱い箇所を取り除いてください。
- ③ 施工の前日に十分水洗いをしてください。
- ④ 水引加減を見て、必要であれば水湿し、またはスーパーコンプリート400を2倍量の水で希釈した液(3倍希釈液)を塗布してください。
- ⑤ 塗布工法の場合は、乾燥した下地にお使いください。

使用方法について

混入工法

用途	混入比率	工法	缶あたり施工面積
モルタル混入工法	<p>セメント：25kg 砂：75kg スーパーコンプリート400：2.5～7.5kg 水：5～15kg</p> <p>本品 1：水 2～3倍液</p>	コテ塗り 養生 7 日以上	塗り厚：6mm厚 75㎡(2.5kg 混入) 50㎡(3.8kg 混入) 25㎡(7.5kg 混入)

ALC 塗布工法

用途	希釈率	塗布量(希釈液)	缶あたり施工面積
ALC 塗布工法	<p>水：36kg</p> <p>本品 1：水 2～3倍液</p>	1回目 250g/㎡ 2回目 150g/㎡	135㎡

塗布工法

用途	希釈率	塗布量(希釈液)	缶あたり塗布面積
セルフレベリング 下地(1回目)	<p>スーパーコンプリート400：18kg 水：72kg</p> <p>本品 1：水 4～5倍液</p>	400g/㎡	125㎡
セルフレベリング 下地(2回目)	<p>スーパーコンプリート400：18kg 水：36kg</p> <p>本品 1：水 2～3倍液</p>	200g/㎡	125㎡